

「2017春 たたらの郷 西播磨佐用へ 原チャリで駆ける」2017.4.12.

桜が満開になると 里山は一機に 芽吹き 草木は燃え
山里も街も 新生の息吹に満ちて 身も心も新た 戸外へ飛び出そう!!

- ◆芽吹きが素晴らしい花街道 西神戸・小野から北条・加西へ 桜堤をトラバース
- ◆加西から中国道に沿って 花街道 山崎断層の中を佐用へ
- ◆千種川が流れ下る古代たたらの郷 佐用の春景色

- 西播磨一の一本桜 満開の古代たたらの里 漆野 光福寺の大糸桜
- 姫新線の列車が走る志文川 の花堤 旧三日月久保大橋
- 春の妖精 旧三日月町弦谷のカタクリ

「2017春 たたらの郷 西播磨佐用へ原チャリで駆ける」 2017.4.12.

古代からのたたらの郷西播磨佐用 四季折々の山里の景色が魅力で
もう訪ね始めて何年になるだろうか…。四季折々幾度となく訪ねる。
各地の桜便りが届きだす春四月初め、佐用のカタクリが咲きだす時期に合わせて、
春になると古代たたらの山里 佐用へ原チャリを走らせるのも恒例。

今年は天候が安定せず、やっと神戸の桜の花も満開になった4月12日
カタクリの花に出会えるか心配しつつ、遅れていた佐用へ播州路を原チャリで駆けてきました。
佐用への播州路の山里 草木燃え、山は芽吹いて桜満開の桜街道。
また、久しぶりに佐用漆野の一本桜 光福寺の大糸桜に出会えるのもうれしい。
うまくゆけば桜とカタクリの両方。だめでも爽快な桜街道原チャリ ツーリングが楽しめる。

西神戸から佐用へ通過する山里・街道筋はどこもかしこも芽吹きと桜満開
素晴らしい山里の春景色。

また、西播州一の一本桜 漆野光福寺大糸桜も満開の枝を四方に垂らす
素晴らしい姿。播州の春爛漫。

心配していた弦谷のカタクリは、盛りは過ぎていましたが、
元気に冷たい風に身を震わせて立ち向かう姿を見ることができました。
出会えたら幸運といわれる「白いカタクリ」の姿もその中に…。

今年もうれしい春の妖精 カタクリとの出会いに。

また、姫新線が走る志文川の桜堤で桜の中を走る列車も撮れました。

気分晴れ晴れ、今日一日を思い浮かべつつ また一年 がんばるぞ!! と

「2017春 たたらの郷佐用へ 原チャリで駆ける」

2017.4.12. by Mutsu Nakanishi

春の花回廊 県道175・23・53号線を乗り継いで
播州路を佐用へ 原チャリで駆ける

中央市山崎から中国道に沿って
 県道53号山崎断層の中切窓峠を越えて
 たたら山郷千種川が流れ下る佐用へ
 目指すは西播磨一の一本桜「漆野光福寺の大糸桜」
 &「カタクリの里 弦谷」 姫新線沿いの桜堤 ほか



千種

千種川

公文川

2017春 花咲く古代たたらの山里 佐用へ

花の回廊 播州路

目指すは西播磨一の一本桜「漆野光福寺の大系桜」
& 「カタクリの里 弦谷」 姫新線沿いの桜堤 ほか

下三河

葛根

漆畑 光福寺大系桜

千種川

殿崎カタクリ

公文川

山崎断層

揖保川

山崎

佐用

林崎ひまわり畑

姫新線 & 桜堤

カタクリの里 弦谷

Google

桜が満開になると 里山は一機に 芽吹き 草木は燃え
山里も街も 新生の息吹に満ちて 弥生 5月へ
身も心も新た 戸外へ飛び出そう!!



2017. 4. 12. 西神戸性海寺の里で

桜が満開になると 里山は芽吹き 草木は燃え
新生の息吹に満ちて 身も心も新た 弥生 5月へ



2017. 4. 12. 西神戸性海寺の里で

◆ 春の桜回廊 播州路を西へ佐用へ
国道175・県道23&53号線を乗り継いで

西神戸・三木から
小野-加西・北条-福崎-山崎-佐用へ



国道175号三木市別所 美蓑川堤の桜 遠望 2017.4.12.



国道175号三木市別所 美蓼川堤の桜 遠望 2017. 4. 12.
手前の田は久しぶりに眺めるピンクのレンゲソウうれしい春景色



久しぶりに眺めるピンクのレンゲソウ　うれしい春景色
国道175号三木市別所　美蓼川堤下の田で　2017. 4. 12.

小野市浄谷から西へ 小野と穴栗市を結ぶ県道23号へ入り、小野栗生から加西北条を抜け、
中国山地の山裾 両側を山に挟まれた狭い山崎断層の中を中国道と並行して
福崎・夢前・安富を通過し、穴栗市の中心山崎に出る。
そこからは県道53号 中国道沿いをさらに西の山中へ 切窓峠を越えて佐用へ入る



小野市栗生 加古川 栗田橋より上流の景色 2017. 4. 12. 右側土手に桜堤 桜の回廊が続く



小野市 加古川栗田橋 桜堤 桜の回廊 2017. 4. 12.





小野市加古川栗田橋 上流堤に続く桜の回廊 2017. 4. 12.



小野市栗生から西へ 南北に延びる青野ヶ原の丘を越えると加西市の田園地帯を北条の街へ
北条の街へ入る手前の北条高校・県立農業高校が並ぶ丘の牧歌的風景 2017.4.12.





加西市北条の街を抜けると いよいよ中国道沿いになり、山崎断層の中へ
山間を抜けてゆく福崎町大貫で 2017. 4. 12.



福崎ICを抜け、山鷲断層の中を中国道に沿って県道23号を西へ
姫路市前之庄で 夢前川の橋を渡る 2017. 4. 12.
夢前川の桜堤の向こう正面に播磨富士「明神山」がそびえている



両側を山に挟まれて西へ続く県道23号 道に沿って 今満開の桜
山里の美しい春景色が続く 2017. 4. 12.



山崎断層の中 夢前から安富への峠道 県道23号 2017. 4. 12.



山崎断層の中 夢前から安富への峠道 県道23号 2017. 4. 12.



山崎断層の中 夢前から安富への峠道 県道23号夢前町夢前町苅野 2017.4.12

山崎へ入る手前 安富町 山には点々と薄紅の桜
山も田園も花の春景色 2017. 4. 12.





安富で南の姫路から遡ってきた国道29号因幡街道に合流して安富峠を越え
穴粟市の中心山崎の街へ入る 長い下り坂が続く切窓峠の坂下で 2017.4.12.



木の香りがほのかに漂う坂道 山郷山崎を象徴する材木市場(1)



木の香りがほのかに漂う坂道 山郷山崎を象徴する材木市場(2)

千種

古代たたらの里 穴栗・佐用の春

穴栗市山崎から中国道に沿って
県道53号山崎断層の中切窓峠を越えて
をたたら山郷千種川が流れ下る佐用へ

目指すは西播磨一の一本桜「漆野光福寺の大糸桜」
& 「カタクリの里 弦谷」 姫新線沿いの桜堤 ほか

千種川

志文川

下三河

県道53号

葛根

漆畑 光福寺大糸桜

県道53号

揖保川

山崎断層

山崎

佐用

千種川

志文川

殿崎カタクリ

林崎ひまわり畑

卯の山峠

姫新線 & 桜堤

カタクリの里 弦谷

Google



揖保川を渡り、山崎の川沿いを北に行く因幡街道と別れ、さらに西へ県道53号に行く。
揖保川にそそぐ菅野川が流れ下る山崎断層の山間 中国道と県道53号が並走して 西の切窓峠越
佐用へ向かう 2017.4.12.
穴栗市山崎高下 山里の美しい春景色 菅野川の桜堤にであえました



県道53号 山中の森の中 切窓峠を越えて 佐用へ



山崎から県道53号に入り 山中の森の中 切窓峠を越えて 佐用へ google earth他より



千種

古代たたらの里 穴粟・佐用の春

山崎断層の谷間を抜け、千種川沿いを旧南光 徳久地区に入る

- ◆ 佐用 漆畑千種川を見下ろす一本桜 光福寺の「大糸桜」
- ◆ 佐用 三日月 姫新線が並走する志文川桜堤
- ◆ 佐用 カタクリの里 弦谷

千種川

下三河

葛根

山崎

山崎断層

志文川

漆畑 光福寺大糸桜

志文川

千種川

殿崎カタクリ

佐用

林崎ひまわり畑

卯の山峠

カタクリの里 弦谷

姫新線 & 桜堤

Google

A scenic landscape photograph showing a valley. In the foreground, a paved road curves to the right, bordered by a metal guardrail. Beyond the road, a small village with several houses and a parking lot is visible. The background features rolling hills and mountains under a blue sky with scattered white clouds. Tall pine trees are on the left side of the frame.

狭い谷間を上り詰め、穴栗と佐用の境 切窓峠を越え、千種川へ注ぐ志文川が流れ下る土方の里。
さらに西へ八重谷峠を越えると北の千種から流れ下る千種川の本流が流れ下る下三河のT字路。
右へ千種川をさかのぼれば、千種。左へ千種川を下れば 旧南光 徳久地区から佐用に入る。
周辺の谷間は古代たたら跡が点在する佐用-穴栗のたたら山郷が点々と続く。

北の千種から 千種川本流が流れ下る下三河のT字路への坂道 2017. 4. 12.



奥の千種から佐用町下三河を流れ下る千種川 2017. 4. 12.
千種川の流れて古くからの街道筋 県道53号が南へ下ってくる



旧南光町徳久地区を流れ下る千種川 佐用下野で 2017. 4. 12.

下野の集落から流れに沿って 谷を渡る中国道の高架橋を越えれば
この千種川沿いたたらの山郷を代表する一本桜 漆野光福寺の大糸桜がある漆野集落である。

◆ たたらの郷に咲く一本桜 佐用漆畑 光福寺の大糸桜 2017.4.12.

千種川が北から流れ下ると徳久の谷筋 千種川に沿って一本の街道に沿って
古いたたらの集落が点々と続く佐用旧南光町徳久

下野から千種川に沿って 山間を南に少し下って 谷間を渡る中国道の高架橋をくぐると
漆畑の集落 集落の中心は左手の丘の裏側の高台にある

光福寺の一本桜がある漆野を流れ下る千種川 2017. 4. 12.

千種

古代たたらの里 穴栗・佐用

千種川が流れ下るたたら山郷の一本桜
佐用 漆畑 光福寺の「大糸桜」

佐用(旧南光地域)

千種川

志文川

下三河

八重谷峠

県道53号

土万

葛根

中国道

千種川

下野

中国道

県道53号

中国道

漆畑 光福寺大糸桜

志文川

Google

◆ 2017年の一本桜 佐用 漆野 播磨一本堂(光福寺)の大糸桜
一本桜には 人・里それぞれに 思いがある 2017.4.12. 佐用町漆野

古代のたたらに咲く一本桜
佐用漆野 播磨一本堂(光福寺)の大糸桜

2017. 4. 12. 佐用町漆野

古代から開けたたたら山郷 宍粟と佐用を結ぶ県道53号の街道筋。下三河のT字路から、北の千種から南へ三河谷を流れ下る千種川沿いへ少し入った漆野。その本村地区にある光福寺は1696年に再建された時に1本のケヤキから建てられたため、近隣の人たちから「播磨一本堂」と呼ばれるようになった。

この再建を記念して境内に植えられた枝垂れ桜は、樹齢300年、根回り8m、高さ13mで、毎年春になると、枝一杯に糸を垂らしたような花姿で、鐘楼を包み込むように花を咲かせる。その姿は華麗 幻想的で「播磨一本堂の大糸桜」と呼ばれる西播磨一の一本桜となった。特に垂れ下がった枝の長さがひときわ美しい。

千種川が流れ下るこの漆野周辺は古代のたたら製鉄地帯で、早くから開けた街道筋。春になると漆野集落で満開の花をつけ、華麗な姿を見せる糸桜はこの街道筋・漆野集落のシンボルであり、誰言うことなく「播磨一本堂の大糸桜」と呼ばれ、親しまれ、今もこのたたら山里・街道筋のシンボルとして守り継がれている一本桜。

毎年春 鑪野山郷佐用を訪ねるうちに、この糸桜の美しい姿に出会い、春佐用を訪ねる楽しみの一つとなりました。もっとも カタクリと漆野の大糸桜が満開の花をつける時期が異なり、両方を一気に見られることは少ないのですが、今年は満開の素晴らしい大糸桜の姿を見ることができました。

また この千種川が流れ下る街道筋はたたら山郷と言いながら、漆野の里の具体的なたたら跡などの位置を知りませんでした。千種川を挟む本村地区・段地区いずれにも古いたたら跡の痕跡があること知ったのも収穫。



古代たたらに咲く一本桜
佐用漆野 播磨一本堂(光福寺)の大糸桜

たたらの郷に咲く一本桜 佐用漆畑 光福寺の大糸桜

漆野 本村

漆畑 光福寺大糸桜

○漆野集落の入口

○漆野集落の入口

漆野 段集落

漆野の集落

下野から千種川に沿って 山間を南に少し下って谷間を渡る
中国道の高架橋をくぐると漆畑の集落
集落の中心は左手の丘の裏側の高台。 集落の一番上にある
光福寺から、集落を見下ろして 大糸桜がある

千種川が北から流れ下ると徳久の谷筋 千種川に沿って一本の街道に沿って
古いたたら集落が点々と続く

古代たたらの山郷 千種川が流れ下る佐用町漆野

漆野の里にも古いたたらの痕跡がいくつも残っている



遺跡番号	遺跡の名称	遺跡の所在地	遺跡の時代										遺跡の種類										調査歴	備考
			旧	縄	古	奈	平	中	近	他	散	集	貝	都	官	城	寺	古	穴	墓	産	他		
510046	本村製鉄遺跡	佐用郡佐用町漆野								●	●											●	0	製鉄、消滅
510047	漆野段製鉄A遺跡	佐用郡佐用町漆野				●	●															●	1	一部消滅、製鉄
510048	漆野段製鉄B遺跡	佐用郡佐用町漆野								●	●											●	0	製鉄
510049	漆野段製鉄C遺跡	佐用郡佐用町漆野								●	●											●	0	製鉄
510050	間村製鉄遺跡	佐用郡佐用町東徳久								●	●											●	0	製鉄(鍛冶)
510052	東徳久遺跡	佐用郡佐用町東徳久	●	●		●	●	●				●										●	1	一部現地保存、一部消滅

古代たたらの郷 千種川が流れ下る漆野

詳細はよくわかりませんが、遺跡ウォーカーや佐用・穴栗の遺跡地図に登録されている漆野集落周辺の遺跡を調べると多数の遺跡(古墳・古代のたたら跡・生産+包含地)が記録されている



漆野の集落へ曲がりくねった坂道を上ると集落の一番上の高台に桜満開の光福寺が見える

光福寺一本桜のある 漆野 本村 2017. 4. 12.





漆野の集落へ曲がりくねった坂道を上ると集落の一番上の高台に光福寺
その入口に満開の花をつけた一本桜「大糸桜」が見える 2017. 4. 12.



古代たたらの里 漆野光福寺の一本桜「播磨一本堂の大糸桜」 2017. 4. 12.



古代たたらの里 漆野光福寺の一本桜「播磨一本堂の大糸桜」 2017. 4. 12.



古代たたらの里 漆野光福寺の一本桜「播磨一本堂の大糸桜」 2017. 4. 12.



古代たたらの里 漆野光福寺の一本桜「播磨一本堂の大糸桜」 2017. 4. 12.



古代たたらの里 漆野光福寺の一本桜「播磨一本堂の大系桜」 2017. 4. 12.



古代たたらの里 漆野光福寺の一本桜「播磨一本堂の大糸桜」 2017. 4. 12.



古代たたらの里 漆野光福寺の一本桜「播磨一本堂の大糸桜」 2017. 4. 12.



古代たたらの里 漆野光福寺の一本桜「播磨一本堂の大糸桜」 2017. 4. 12.



古代たたらの里 漆野光福寺の一本桜「播磨一本堂の大糸桜」 2017. 4. 12.



古代たたらの里 漆野光福寺境内 2017. 4. 12.



古代たたらの里 漆野光福寺境内 手前の紅枝垂れと大糸桜 2017. 4. 12.



古代たたらの里 漆野光福寺境内 手前の紅枝垂れと奥に大糸桜 2017. 4. 12.



古代たたらの里 漆野光福寺の一本桜「播磨一本堂の大糸桜」 2017. 4. 12.



古代たたらの里 漆野光福寺の一本桜「播磨一本堂の大糸桜」 2017. 4. 12.



古代たたらの里 漆野光福寺の一本桜「播磨一本堂の大糸桜」 2017. 4. 12.

古代のたたらに咲く一本桜 佐用漆野 播磨一本堂(光福寺)の大糸桜

2017. 4. 12. 佐用町漆野

古代から開けたたたら山郷 宍粟と佐用を結ぶ県道53号の街道筋。下三河のT字路から、北の千種から南へ三河谷を流れ下る千種川沿いへ少し入った漆野。その本村地区にある光福寺は1696年に再建された時に1本のケヤキから建てられたため、近隣の人たちから「播磨一本堂」と呼ばれるようになった。

この再建を記念して境内に植えられた枝垂れ桜は、樹齢300年、根回り8m、高さ13mで、毎年春になると、枝一杯に糸を垂らしたような花姿で、鐘楼を包み込むように花を咲かせる。その姿は華麗 幻想的で「播磨一本堂の大糸桜」と呼ばれる西播磨一の一本桜となった。特に垂れ下がった枝の長さがひととき美しい。

千種川が流れ下るこの漆野周辺は古代のたたら製鉄地帯で、早くから開けた街道筋。春になると漆野集落で満開の花をつけ、華麗な姿を見せる糸桜はこの街道筋・漆野集落のシンボルであり、誰言うことなく「播磨一本堂の大糸桜」と呼ばれ、親しまれ、今もこのたたら山郷・街道筋のシンボルとして守り継がれている一本桜。

毎年春 鑑野山郷佐用を訪ねるうちに、この糸桜の美しい姿に出会い、春佐用を訪ねる楽しみの一つとなりました。もっとも カタクリと漆野の大糸桜が満開の花をつける時期が異なり、両方を一気に見られることは少ないのですが、今年は満開の素晴らしい大糸桜の姿を見ることができました。

また この千種川が流れ下る街道筋はたたら山郷と言いながら、漆野の里の具体的なたたら跡などの位置を知りませんでした。千種川を挟む本村地区・段地区いずれにも古いたたら跡の痕跡があること知ったのも収穫。



満足感一杯で 千種川に沿って 春の妖精「カタクリの花」が咲く、佐用のカタクリの里へ向かう

千種川の河岸段丘の傾斜地の雑木林の中のカタクリの群生地 東徳久殿崎のカタクリの里
もう柵は閉じられ、誰の姿も見えずで 雑木林の斜面にカタクリの花の姿は見えず。
残念ながら咲き終わりでした

漆野からさらに少し南へ下ったところが殿崎のカタクリの里。

昨年訪れた4月5日からは1週間遅れ。

漆野の大糸桜で写真を撮っていた人からも大糸桜が咲くと

「もうカタクリは遅すぎで、終わっているよ」と言われ、納得もするのですが、やっぱり、殿崎のカタクリの里に立ち寄る。

もう柵は閉じられ、誰もいない。残念ながら咲き終わりでした。

カタクリの花はあきらめ気味ですが、旧三日月の弦谷の方が毎年少し遅れるので、弦谷のカタクリに淡い期待。

東徳久の林崎からさらに南へ山越えして志文川が流れる旧三日月の街へ

弦谷への途中 旧三日月町に入ると千種川に注ぐ志文川の桜堤に出る。

姫新線の列車と桜が撮れる美しい景色のポイントである。

昨年夏のひまわりに続いて 今度は春 桜の花の中を走る列車が撮れそうだ。

「姫新線の列車と桜」そして「弦谷のカタクリ」

どちらか取ればいいと、

2017. 4. 12. 東徳久殿崎のカタクリの里で

西播磨花の郷
東徳久殿崎
カタクリの里
認定 兵庫県知事

千種

千種川

◆東徳久から 公文川流れ下る旧三日月町へ◆

◆ 佐用 三日月 姫新線が並走する志文川桜堤

◆ 佐用 三日月 カタクリの里 弦谷

山崎

山崎断層

下三河

葛根

漆畑 光福寺大系桜

千種川

志文川

殿崎カタクリ

佐用

徳久(旧南光町)

林崎ひまわり畑

旧三日月町

千種川

志文川

カタクリの里 弦谷

姫新線 & 桜堤

志文川

Google



千種川が流れ下る徳久林崎から、国道179号を南東へ
卯の山峠を越えて 志文川が流れ下ってくる旧三日月町へ 2017.4.12.
旧三日月町へ入る坂道から前方に、一列に並んだ志文川堤の桜並木が見える(旧三日月末広)
その手前が三日月駅と播磨徳久駅間の姫新線の線路である。

◆ 佐用 三日月 姫新線が並走する志文川桜堤

志文川 久保大橋の桜堤 末広踏切 2017. 4. 12.





14;18 東から、志文川の桜堤を行く姫新線の佐用行列車 末広踏切で 2017.4.12.



14;18 東から志文川の桜堤を行く姫新線の佐用行列車 末広踏切で 2017.4.12.



14;18 東から志文川の桜堤を行く姫新線の佐用行列車 末広踏切で 2017.4.12.



14;18 末広踏切横 志文川 久保大橋の桜堤 2017.4.12.



姫新線 末広踏切横 志文川 久保大橋の桜堤から東の旧三日月の街を眺める 2017. 4. 12.
正面の山際を右に回り込んだところが、カタクリの里弦谷である



志文川上流三日月駅側



志文川下流 播州徳久駅側



14;18 東から、志文川の桜堤に行く姫新線の佐用行列車 末広踏切で 2017.4.12.





志文川久保大橋より 下流 播州徳久駅側の桜堤を眺める 2017.4.12.



志文川桜堤から東へ カタクリの群生地 弦谷へ

志文川の桜堤から東へ姫新線に沿って東へ カタクリの群生地 弦谷へ向かう。 2017. 4. 12.

正面に見える山並み 右手の山際を右に回り込んだところが、カタクリの里弦谷である。

少し戻ると志文川の弦谷橋谷間を南へスプリング8のある播磨科学公園都市へ向かう県道28号の弦谷の里の入口。南へ県道28号に入ると、右手西 家並みの後ろの山の斜面が弦谷のカタクリの群生地である。何度通った道 まだ カタクリは花をつけているだろうか……

◆ 佐用 三日月 カタクリの里 弦谷

古代たたら山郷 佐用に咲く氷河期の生き残り「カタクリの花」

冷たい風に身を打ちふるわせる可憐な春の妖精

今年も佐用旧三日月町弦谷 カタクリの群生地に訪ねることができました



春の妖精

「カタクリの花」

花言葉は

「初恋」・「寂しさに耐える」

地球氷河期の生き残り

8年かけて 地表に顔をだし

日陰の山腹の斜面で 冷たい風に身を打ち震わせ

立ち向かう姿に 心をゆさぶられる

奥深い山間を古代たたら山郷を育んだ

千種川と志文川が流れ下る

四季折々 花が咲く静かな花の山郷

兵庫県播磨 佐用町

その里山の傾斜地に

春の訪れを告げる「片栗の花」の群生地

旧三日月町 弦谷





弦谷 カタクリの群生地の山の斜面 2017.4.12.

山の斜面のあちこちに小さな紫のカタクリの花が見える もう 盛りは過ぎたものの 何とか間に合った



弦谷 カタクリの群生地山の斜面 あちこちにカタクリの花が咲いているのが見える 2017.4.12.



弦谷 カタクリの群生地山の斜面

2017. 4. 12.

あちこちにカタクリの花が咲いているのが見える

午後3時を過ぎ

差し込む陽が弱く、紫色が強い

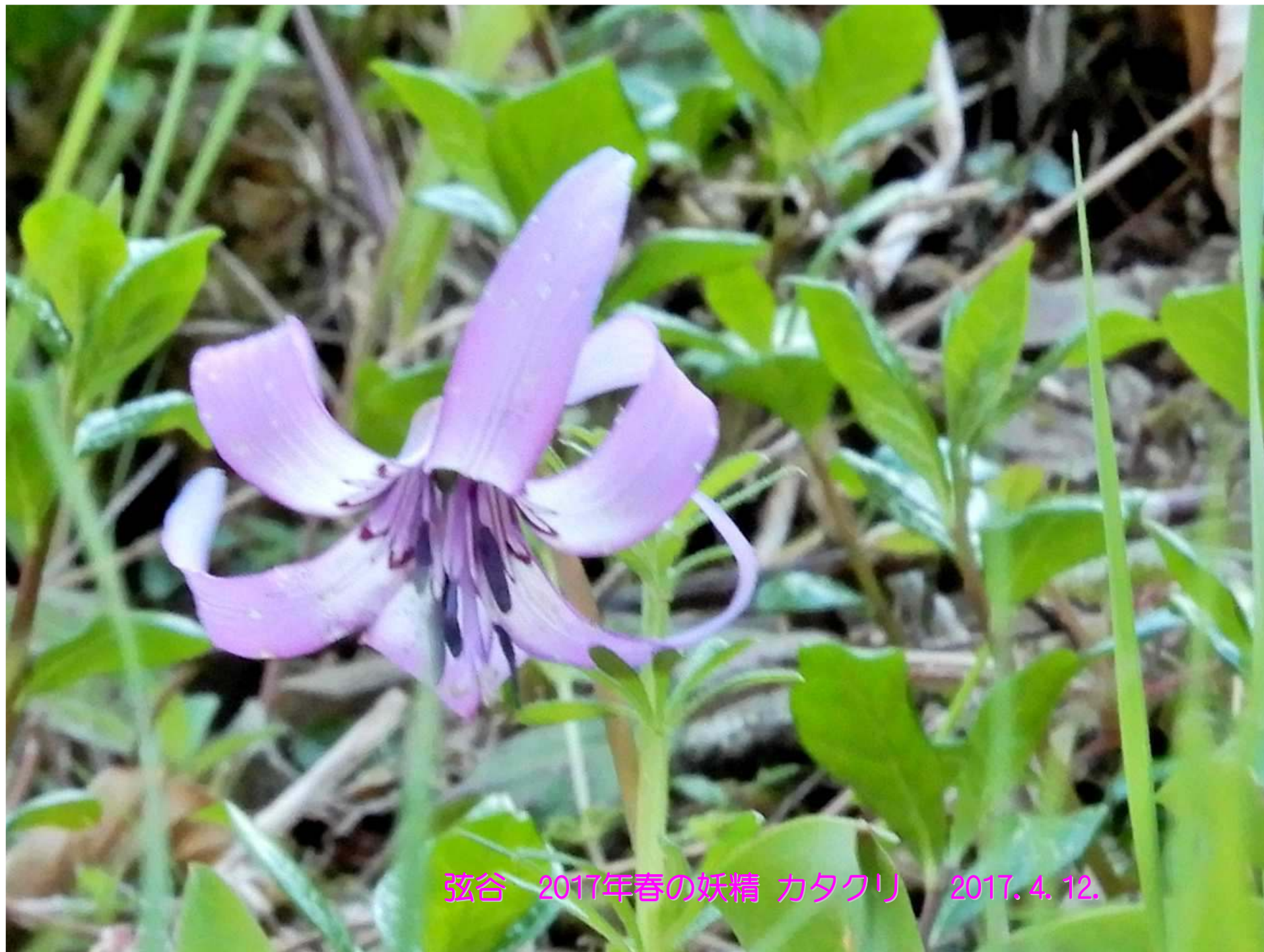
弦谷のカタクリ群生地で 2017. 4. 12.

もう盛りが過ぎて 咲ききったり、形が崩れたりしていますが、
弦谷で 今年もカタクリに出会えました





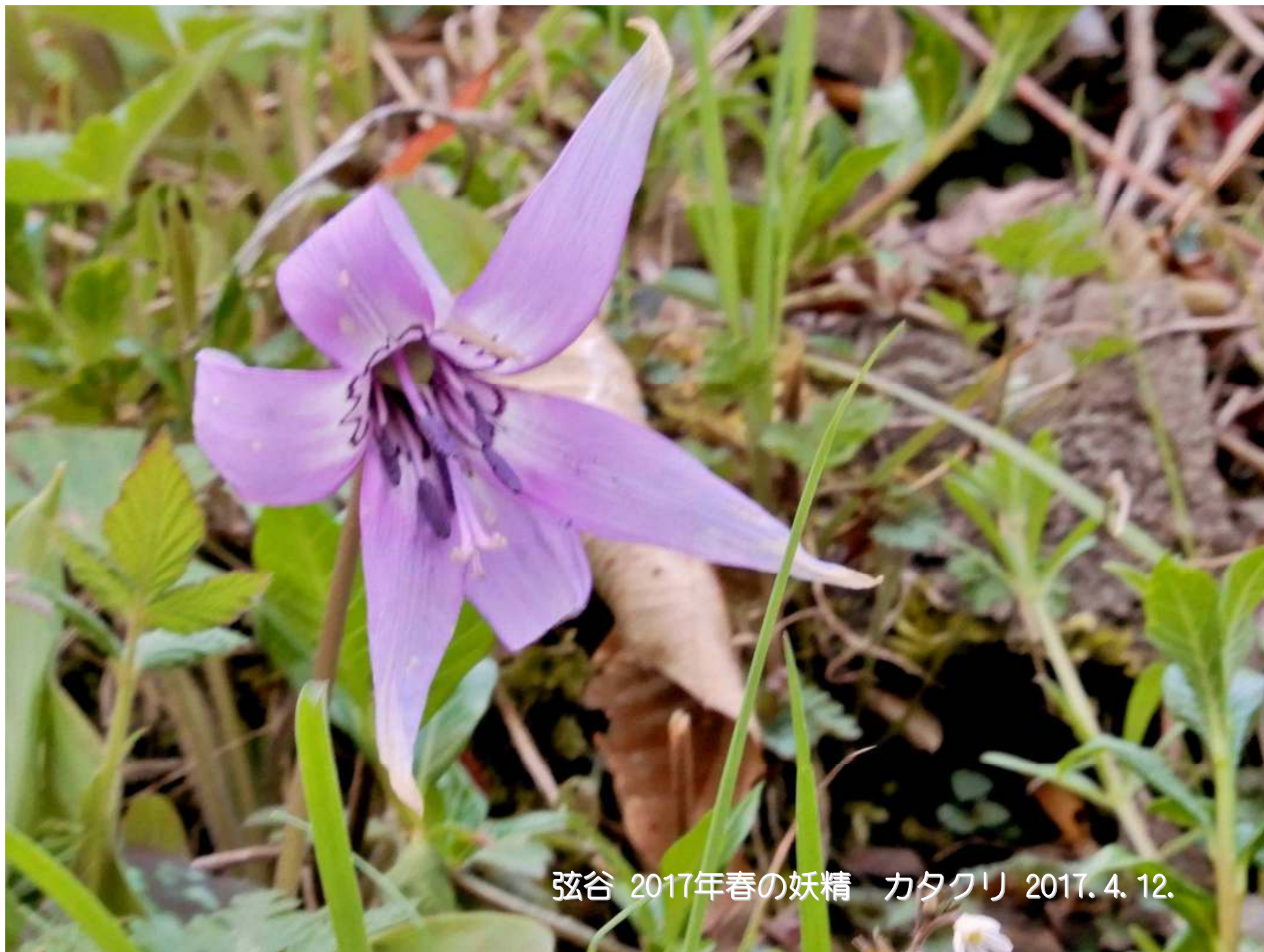
弦谷 2017年春の妖精 カタクリ
2017. 4. 12.



弦谷 2017年春の妖精 カタクリ 2017. 4. 12.



弦谷 2017年春の妖精 カタクリ 2017. 4. 12.



弦谷 2017年春の妖精 カタクリ 2017. 4. 12.





弦谷のカタクリ群生地で 2017. 4. 12.

もう盛りが過ぎて、咲ききったり、形が崩れたりしていますが、
弦谷で、今年もカタクリに出会えました



白いカタクリにも出会えました 弦谷のカタクリ群生地で 2017. 4. 12.



カタクリと一緒に 白いイチリンソウもたくさん咲いていました
出かけた時期が遅かった役得かも… 弦谷のカタクリ群生地で 2017. 4. 12.



愛らしい春の妖精「カタクリの花」
陽が陰り始めた山の斜面で
まだ冷たい風に立ち向かって身をふるわせる
私の一番好きな花の一つ
今年も出会えてよかった

春を告げる妖精
「カタクリの花」

花言葉は
「初恋」・「寂しさに耐える」

地球水河川の生き残り
日陰の山腹の斜面で
冷たい風に身を打ち震わせて
立ち向かう姿に心をゆき動かされる



出かけるのが遅かったので、心配でしたがカタクリの花に出会えてよかった。
また、誰もいないカタクリの群生地で 風に身を震わせる姿の動画も撮れました。
春の妖精カタクリの花 来年はもう少し早くやってこねば・・・と

弦谷のカタクリ群生地で 2017.4.12.



春の妖精 「カタクリの花」

花言葉は
「初恋」・「寂しさに耐える」

地球氷河期の生き残り
8年かけて 地表に顔をだし
日陰の山腹の斜面で 冷たい風に身を打ち震わせ
立ち向かう姿に 心をゆさぶられる

奥深い山間を古代たたらの里を育んだ
千種川と志文川が流れ下る
四季折々 花が咲く静かな花の山郷
兵庫県播磨 佐用町

その里山の傾斜地に
春の訪れを告げる「片栗の花」の群生地
旧三日月町 弦谷



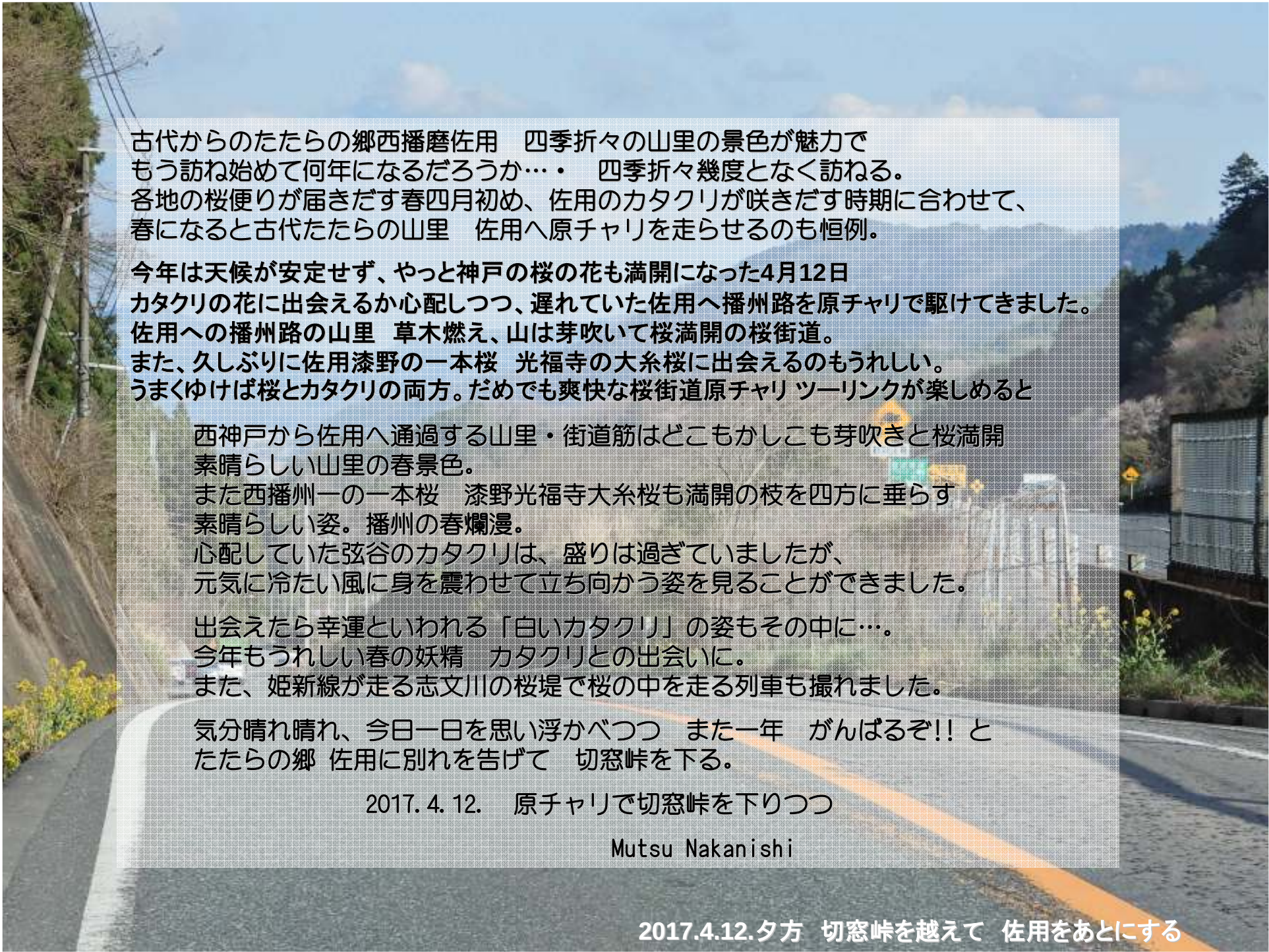
今年は訪れるのが遅く、出会えないかもしれないと思いつつ、弦谷にやってきましたが、今年も山腹いっぱいに咲く可憐なカタクリに出会えて本当に良かった。
また 来年!! と弦谷を後にする



夕方近く 久しぶりに たたらの郷が点在する志文川沿いを遡って 県道53号葛根へ、
朝来た道中国道沿いを帰路に 2017.4.12.



2017.4.12. 夕方 切窓峠を越えて山崎へ 佐用をあとにして 家路を急ぐ



古代からのたたら郷西播磨佐用 四季折々の山里の景色が魅力で
もう訪ね始めて何年になるだろうか・・・ 四季折々幾度となく訪ねる。
各地の桜便りが届きだす春四月初め、佐用のカタクリが咲きだす時期に合わせて、
春になると古代たたら郷の山里 佐用へ原チャリを走らせるのも恒例。

今年は天候が安定せず、やっと神戸の桜の花も満開になった4月12日
カタクリの花に出会えるか心配しつつ、遅れていた佐用へ播州路を原チャリで駆けてきました。
佐用への播州路の山里 草木燃え、山は芽吹いて桜満開の桜街道。
また、久しぶりに佐用漆野の一本桜 光福寺の大糸桜に出会えるのもうれしい。
うまくゆけば桜とカタクリの両方。だめでも爽快な桜街道原チャリ ツーリングが楽しめる

西神戸から佐用へ通過する山里・街道筋はどこもかしこも芽吹きと桜満開
素晴らしい山里の春景色。

また西播州一の一本桜 漆野光福寺大糸桜も満開の枝を四方に垂らす
素晴らしい姿。播州の春爛漫。

心配していた弦谷のカタクリは、盛りは過ぎていましたが、
元気に冷たい風に身を震わせて立ち向かう姿を見ることができました。

出会えたら幸運といわれる「白いカタクリ」の姿もその中に…。

今年もうれしい春の妖精 カタクリとの出会いに。

また、姫新線が走る志文川の桜堤で桜の中を走る列車も撮れました。

気分晴れ晴れ、今日一日を思い浮かべつつ また一年 がんばるぞ!! と
たたら郷 佐用に別れを告げて 切窓峠を下る。

2017. 4. 12. 原チャリで切窓峠を下りつつ

Mutsu Nakanishi

2017.4.12.夕方 切窓峠を越えて 佐用をあとにする

「2017春 たたらの郷 西播磨佐用へ 原チャリで駆ける」2017.4.12.

桜が満開になると 里山は一機に 芽吹き 草木は燃え
山里も街も 新生の息吹に満ちて 身も心も新た 戸外へ飛び出そう!!

- ◆芽吹きが素晴らしい花街道 西神戸・小野から北条・加西へ 桜堤をトラバース
- ◆加西から中国道に沿って 花街道 山崎断層の中を佐用へ
- ◆千種川が流れ下る古代たたらの郷 佐用の春景色

- 西播磨一の一本桜 満開の古代たたらの里 漆野 光福寺の大糸桜
- 姫新線の列車が走る志文川 の花堤 旧三日月久保大橋
- 春の妖精 旧三日月町弦谷のカタクリ

By Mutsu Nakanishi